別紙1

| 課題  | 地域協議会での検討  | 今後の進め方  |
|---|--|---|
| ①他地区に比べ、作手地区に住む高校生は、バス通学や保護者による送り迎えが必要となり、経済的負担が大きい | ①子育て支援報奨金<br>この問題を改善するため、試験的に高校生 1 人あたりへの子育て支<br>援報奨金を支給し、その効果の検証を行う。この取り組みは、移住・<br>定住の促進につながる可能性も期待できる。 | 課題に対する効果がみえにくい。また、子育て支援として、高校生の保護者だけでよいのか等の検討が必要になってくる。                   |
|   | ②公共バス利用促進事業<br>この問題を改善するために、試験的にバスや下宿、自家用車の送迎<br>の一部を助成することで保護者の負担の軽減を図る検証を行う。                           | 他地域でも同じ課題がある。市全体とし<br>て検討していく。  |
| ②Sバス作手線の時間が合わず、保護者が送り迎えしなければいけなく負担となっている            | ②公共バス利用促進事業<br>これらの課題を改善するため、時間や運行方法の見直しを行い、地<br>域全体の交通の利便性の向上を図る。あわせて観光利用についても<br>検討をしていく。              | Sバス守義線、Sバス作手線、デマンドバスを、作手地域にとってどうしていくか検討会を実施していく。内容は高校生の通学、高齢者の移動など総合的に検討し |
| 【新】高校の募集停止が決定し、今後のSバス作手線の運行に不安がある                   |  | ていく。  |